

会 議 録

会議の名称	平成 28 年度 第 9 回 栃木中央地域会議
開催日時	平成 29 年 3 月 21 日 (火) 18 時 30 分開会～19 時 25 分閉会
開催場所	栃木市役所本庁舎 3 階 正庁
出席者及び欠席者氏名	別記 1 のとおり
事務局職員職氏名	別記 1 のとおり
その他出席者等	別記 1 のとおり
会議事項	別記 2 のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
その他必要事項	なし
会議の経過 (議事の要旨)	別記 3 のとおり

別記 1 出席者及び事務局

○出席者 (委員)

会 長 佐山 正樹	副会長 石河 不砂	委 員 池添 亮
委 員 大浦 兼政	委 員 鬼塚 修	委 員 杉山 栄
委 員 鈴木 林彌	委 員 中尾 秀美	委 員 町田 爽起夫
委 員 村田 弘子	委 員 渡邊 一浩	

○欠席者 (委員)

委 員 臼井 義雄	委 員 大波 龍郷	委 員 木村 隆夫
委 員 高瀬 淳	委 員 山口 真右	委 員 若林 芳明
委 員 下田 明範		

○事務局

【総合政策部】

大橋 嘉孝 (地域づくり推進課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長)
 清水 孝之 (地域づくり推進課長補佐)
 福田 英臣 (地域づくり推進課主任)
 鈴木 晃子 (地域づくり推進課主事)
 臼井 崇倫 (地域づくり推進課主事)

○その他出席者

【財務部】

島田 隆夫 (公共施設再編課長)
 海老沼 博行 (公共施設再編課長補佐)
 堀江 裕美 (公共施設再編課主査)

別記 2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

佐山会長

3 議 事

(1) 栃木市公共施設適正配置計画（案）について
議事録を参照のこと

4 その他

5 閉 会

別記 3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	1 開会
佐山会長	2 会長あいさつ
	3 議事
	(1) 栃木市公共施設適正配置計画（案）について
担当課	【公共施設再編課より資料に基づき説明】
委員	市有施設の借地の割合や賃借料についてはわかるのでしょうか。
担当課	割合は未だ出していませんが、今後出すことを検討します。借地や賃借料については「施設カルテ」に記載して閲覧できるようになっています。
	4 その他
佐山会長	2年間やってきて、みなさんに思うところを聞いていきたい。
委員	地域会議の使命は重要。今後も微力ながらまちづくりに力を添えていきたいと思う。
委員	こういう会議でなければ知ることができなかった分野の話を知ることができた。このような機会があればまた勉強したい。
委員	地域自治交流会で市長に「このような事業提案がでてよかった」と言われて地域会議の意義がわかった。これからも課題を気に留めつつまちを眺めたい。
委員	市の事業とは積み重ねで行われているということがわかり、また、市の情報を早く知ることができた。少子高齢化を迎え、あたらしい栃木市をみなさんとつくっていく時代なのだと思った。
委員	自治会連合会との違いがどのようなのか、について戸惑っていたが、行政の努力を感じた。これからもがんばっていただきたい。

委員	当初は本会議のねらいがわからなかったが、県行政とは違い、市行政は市民と密接したものだと感じた。議会とやりとりがあってもよかったかもしれない。
委員	何においても丈夫な基礎が大切。この2年間は強い基礎のために議論を戦わせることが必要だった。市民会議にも出席していたが、市の事業が多岐にわたることを知った。市民会議でのことをこの場でも報告できていればよかったと思う。
委員	実働組織もそうだが、今後もこのように年代を越えてぎっくばらんに話し合える会議の場をつくっていければよいと思う。
委員	これからも栃木市のためにできることがあれば力を添えていきたい。
委員	2年間あっという間だった。それぞれの団体から来た方がそれぞれの立場で話す機会や場、というのはなかなかない。有意義な場だった。
佐山会長	特別な人たちでなく、一般の人たちが合意形成していく時代。本当に地域のためになる施策、また組織ができると良いと思う。日本型民主主義という観点から、本会議は大きなプロジェクト。欠席の委員も言いたかったことが多くあると思う。本当にお世話になった。ありがとうございました。
事務局	5 閉会